

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/01/17号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(注) 2021/09/12まではWTI原油価格連動型上場投信のデータ (出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

需給ひっ迫感を維持、2カ月ぶり高値更新

NY原油先物相場は、1バレル=83ドル台後半まで更に値上がりする展開だった。北半球の寒波が続く中、短期需給のひっ迫評価を織り込む動きが優勢になり、期近限月主導の値上がりが続いている。80ドルの節目水準での戻り売り圧力も弱く、昨年11月10日以来の高値を更新している。米原油在庫の減少傾向が続いていること、為替がドル安方向に振れたこともポジティブ。また、14日の取引ではウクライナ情勢の緊迫化も警戒され、戻り高値を更新する展開が維持されている。リビアやカザフスタンの供給障害は緩和されているが、大きな値崩れはみられなかった。

北半球全体で寒波が続いており、季節的な需要拡大期待が維持されている。天然ガス相場も瞬間的に急伸する場面がみられ、暖房用エネルギー需要の拡大期待が、素直に相場を押し上げる展開になっている。今週の北米では、西部から南部にかけて平年を上回る気温が予想されているが、東部から北部にかけては寒波が続く見通しになっている。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (1月7日時点) は、原油が前週比455万バレル減、ガソリンが796万バレル増、石油精製品が254万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

寒波が続いている間は堅調、IEA月報がイベントリスクに

短期需給のひっ迫感が維持されており、底固い展開が続こう。リスク投資の地合が安定化していることもあり、素直に期近限月から買われる展開になり易い。寒波による暖房用エネルギー需要拡大の影響が大きいと、気象環境・見通しの変化に対しては柔軟な対応が求められる。ただ、良好な需要環境、それが在庫減少を促すトレンドが維持されると、85ドルの節目、そして昨年10月25日高値85.41ドルを意識した展開になるろう。

短期需給ひっ迫感を維持できるか否かが焦点になる。マクロ環境としては、供給不足から供給過剰への転換期が近づいている可能性が高く、急伸局面では寒波一服後の調整局面入りを見据えた売りポジションの構築も検討対象になる。一方、寒波が続いている間は期近限月主導の上昇が続き易く、どこまでの上値切り上げが可能かの限界ラインが打診されよう。

1月18日には石油輸出国機構（OPEC）、19日には国際エネルギー機関（IEA）の月報が公表される。先月は1～3月期の供給過剰見通しが示されたことが調整売りを誘うきっかけになっただけに、イベントリスクとして注目したい。短期需給ひっ迫から、今後の需給緩和見通しにマーケットの関心がシフトすると、上げ一服となる可能性がある。

ウクライナ情勢を巡って、米ホワイトハウスはロシアの侵攻に対する警戒感を表明している。ウクライナ政府機関へのサイバー攻撃などで、侵攻の口実をでっちあげる偽装工作を計画していると批判している。ロシアがウクライナに侵攻した2014年との類似性も指摘されており、同地区のエネルギー供給環境が混乱すると、原油相場も急伸するリスクを抱えている。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



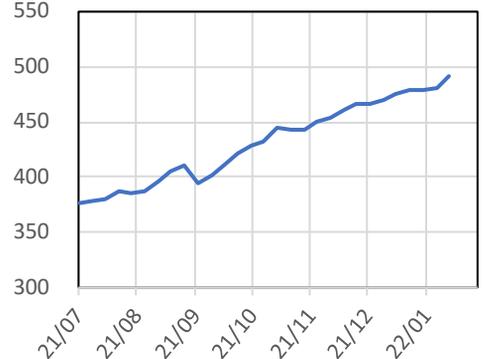
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

